

採血で出来るアルツハイマー病の発生リスク判定

40歳を過ぎたら認知症予防を視野にいれましょう

アルツハイマー病はβアミロイドとよばれるタンパク質が脳内に蓄積することが原因とされていますが、このタンパク質は、発症の25年も前から脳内に蓄積を始めることが明らかになっています。発症の25年前…つまり40歳を過ぎたら認知症予防を視野にいれたライフスタイルに改善する必要があるのです。

APOE 遺伝子検査とは？

- ◆あなたの持っているAPOE 遺伝子型を調べ、アルツハイマー病発症リスクを知り予防につなげるのが、APOE 遺伝子検査です。
- ◆検査を受けるには、医療機関で5mLの採血をしてください。
- ◆検査結果は医療機関から受け取ります。(2~3週間後)



APOE 遺伝子検査はアルツハイマー病の発症リスクを調べるものであり、将来の発症の有無を判定するものではありません。またε4 遺伝子型があったとしても、必ずしもアルツハイマー病を発症するわけではありません。

アルツハイマー病の発症は遺伝子要因以外に加齢や生活習慣なども関係しています。また、糖尿病や高血圧がアルツハイマー病のリスク因子と言われています。

生活習慣の改善など適切な予防を行えば、アルツハイマー病の発症を防ぐことや遅らせることができると最近の研究でわかっています。

アルツハイマー病発症と関係の深いAPOE 遺伝子検査を受け、リスクを知り予防に繋がしましょう。

- 本検査は健康保険の適用外ですので、健康診断と同様に自費となります。

検査料金
¥15,000(税別)

【お問合せ先】 宇野病院 健診センター

TEL : 0564-24-2217 フリーダイヤル : 0120-204-602